

レルヒさんと湯沢でデート



湯沢高原「恋人の聖地」で「レルヒさん」と鐘を鳴らす長沢優美子さん（左）＝21日、湯沢町

観光協企画に当選 東京の女性

高原の魅力を満喫

県のキャラクター「レルヒさん」が21日、湯沢町観光協会の招きで同町を訪れた東京の女性を観光案内した。同協会が昨冬行ったスキー場スタンプラリーの関連イベント。「レルヒさん」の大ファンという女性は、手をつないで湯沢高原などを訪ね、「デート」を満喫した。

湯沢町へのスキー伝承 買った人を対象にスタンプ100周年を記念し、同 プラリーを行った。町観光協会は昨年、町内 スタンプがたまった人で12スキー場でリフト券を には、抽選賞品として南 内権利」を用意。県内外

から約600人の応募があり、県外の4人に「レルヒさん」が当たった。そのうちの1人、東京都荒川区のフリーライター、長沢優美子さん（41）が「第1弾」として招かれた。札幌市出身の長沢さんは昨年6月、テレビでレルヒさんを知った。「動きがコミカルで見る角度によって表情が違ふ」とファンになり、レルヒさんが登場する東京や本県でのイベントに可

能な限り通つ。

スタンプラリーを知った長沢さんは昨冬、「観光案内権はまさにレルヒさんとのデート権」と、当選を目指して奮起。3力所分から応募できるが、数を稼ぐため日帰り6回スキーに訪れ、1

日に2カ所を滑った巨も

あった。念願がかなった21日、長沢さんは越後湯沢駅改札でレルヒさんに出迎えられる後、ロープウェイに乗って湯沢高原を訪ねた。

地へ一掃に鐘を鳴らし

ベンチに腰掛けて風景を眺めた。「あー、幸せ」を連発し、温泉通りの交差点「ぶらり」では名物「レルヒ焼き」を食べながら筆談を交えて楽しんだ。長沢さんは「レルヒさ

んを矢張り、湯沢の魅力を

力をどんどん知った。東京で新潟の魅力を広めていきたい」と笑顔で話していた。レルヒさんも「新潟湯沢ガ、モット好きキニナッテクレタラ、ウレシイ」と筆談で応じた。長沢さん以外の当選者

も順次「レルヒさん」に観光案内してもらおう。